

Q&A 方式

心・技・体！悩み知らずの無敵受験生
完全養成マニュアル

【 29 の絶対合格法則 】

無料プレビュー版



著者：石田尚学 & Mr. Y

PR (本編には含まれていません。)

世の中には、**悩み苦しむ受験生**が多すぎる…。

「一体どうしたらいいんですか！？」
助けてください。もう死にたいです。」

- ▶ やらなきゃいけないのに、モチベーションが、どうしても上がらない
- ▶ 集中力を保てなくて、すぐに勉強以外の違うことをしてしまう。
- ▶ なかなか記憶できない。とくに数字や条文に苦戦してしまう。
- ▶ 本試験までに全範囲終わられるか、不安で不安で仕方が無い。
- ▶ 初めのやる気が、いつの間にかなくなってしまふ。
- ▶ 一生懸命勉強したのに、不合格になってしまった。
- ▶ がんばっているのに、思うように結果が出ない。
- ▶ もう何が何だか……。どうしたらいいのかわからない。

辛くて、辛くて泣けてくる…。

受験の世界には、いつも悲痛な叫びがこだましています。

上記に載せた悩みは、比較的ありふれたもので、あなたも一度は経験したことがあると思います。

しかし……、

残念ながら、そんな**悩み**に囚われているようでは
合格なんて**出来っこありません**…。

試験は**競争**です。

本試験当日には、「絶対に合格したい！」と願ってやまない人たちが、集まります。
もちろん、ただ願うだけでなく、それ相応の努力を積み重ねてきた人たちです。

そんな人たちが集まる試験に、悩みを抱えたままで合格できるわけがありません。
それほど、試験は甘くないのです。

にもかかわらず、悩みを抱えている受験生が多すぎる…。

私のごく身近にもいますし、インターネット上でもメルマガやブログで見かけます。

そういう人たちを見ていると、「この人は、大丈夫かな？」といつも心配になります。

- ▶ **ちゃんと勉強しているのだろうか？**
- ▶ **そんな考え方でいいのだろうか？**
- ▶ **今の時期に、そんな勉強していいのだろうか？**
- ▶ **その勉強の仕方は、効率が悪くないだろうか？**

掲示板を読んでも、こういう人たちはよく見かけます。

そして…。

案の定、**不合格**です。

「やっぱり、**不合格**になったか……。」

信じられないかもしれませんが、落ちる人には、前々からその前兆が出ています。

落ちるべくして、落ちている。
それが**現実**です。

理由は、先ほど申し上げた通りです。

悩みに囚われているから……です。

その弱み・隙があるせいで、いつまで経っても合格できないのです。

一方、**合格者**は、多かれ少なかれ、必ず何らかの**対処法**を身につけています。

合格・不合格の境目は、そういうところにあるんですね。

ところが、その理屈は分かって、具体的にどう対処したら良いのか分からないでいる受験生があとを絶ちません。

私の元にも、ときときメールが送られてきます。

「どうしたらいいのですか?助けてください!」

そういう趣旨の内容です…。

見ているだけで、いたたまれなくなります。

その悲痛な思いに応え、我々は立ち上がりました。

あなたのその悩み。

全力を持って、ぶったぎってみせましょう。

では、プレビュー版をご覧ください。

目次

(本文中では、「心・技・体」に関する質問を、色によって区別しています。)

無料プレビュー版には、赤色の項目だけが掲載されています。

石田尚学 回答編

心(マインド)

- 1、一生懸命勉強しても、合格できないときは?.....7
- 2、集中力のなさに困っているときは?.....11
- 3、独立を目標としている方への成功アドバイス.....15
- 4、頑張ることに対して空しさを感じてしまった場合.....18

技(テクニック)

- 5、苦手な数字暗記を克服するには?.....21
- 6、条文の理解を深め記憶するには?.....24
- 7、読書スピードを上げる速読のコツ.....27
- 8、択一で、残った2つの選択肢から正解を導くには?.....29

体(戦略)

- 9、時事問題・一般常識など、つかみどころのない科目の対処法は?.....31
- 10、過去問が無い新試験の対象は?.....34
- 11、勉強計画の立て方とその戦略.....36
- 12、試験制度が大きく変わってしまった場合の戦略.....38

その他

- 13、試験合格後に訪れた変化.....39

Mr. Y 回答編

心(マインド)

- 1、逃げ出したいとき、モチベーションを上げたいとき……………41
- 2、途中で学習を放棄してしまう原因とその対策……………47
- 3、年齢的なハンディキャップ&弱みの受け止め方……………55
- 4、休息の取り方で効率アップ……………62

技(テクニック)

- 5、正しい予習・復習の仕方……………65
- 6、「裏技的!?勉強法 ver.3」改定後、新たに発見した勉強法とは?……………67
- 7、理解すべき項目、暗記すべき項目。それぞれの対処法……………75
- 8、合格を導く効果的なノートの取り方……………80

体(戦略)

- 9、1日のノルマとその決め方……………92
- 10、その年の教材が販売される前から勉強すべきか?……………93
- 11、試験直前期のベストな過ごし方とは?……………95
- 12、試験日までに、確実に全範囲を終わらせるには?……………96
- 13、過去問を軸にした勉強計画について……………100

その他

- 14、試験合格後に訪れた変化……………102
- 15、大学院入試と資格試験の違い&論文作成のポイント……………105
- 16、合格後に燃え尽きないようにするには?……………109

石田尚学 回答編

【主な合格実績】

- ・行政書士試験 **3ヶ月**合格
- ・社会保険労務士試験 **6ヶ月**合格

【発行メルマガ】

「資格 GET！ で幸せなお金持ちへの道」

<http://www.mag2.com/m/0000170113.html>

【質問】 受験生には、**集中力のなさ**に困っている人が多いようです。石田さんは、そのような経験がありますか？ もしあれば、どのように対処したかを教えて頂けますか？

はい。もちろん私にもあります(笑)。大体学生時代、ほとんど勉強をしなかったのも、**長時間机に向かう習慣**がありませんでした。学習ペースがなじむまでは特に、苦労しましたね。

その際行ったことは...

机での学習を止めました。

ペースがつかめなかったからです。

机に向かった途端、苦手な**勉強モード**になってしまうのです。そのため机以外の場所(例えばベッドの上)で、基本書や過去問を広げるようにしました。

これだけで気分が変わり、**学習に入り込める**ようになります。しかし...

そのうち飽きてきます(笑)。

その際は**場所移動**をしました。当時実家に住んでいたのも、自室ではなくリビングで学習を行ったり...ですね。

ローテーション式学習法です。

もちろん、本気で学習する際は、机に勝るものはありません。テキスト類を収納できる上、面積が広いので、様々な書籍を置けますからね。学習ペースをつかんだ後は、机に向かうことも当然ありました。しかし注意点があります。

夜半に学習するときは、...

『**蛍光灯のライトだけで、学習を行ってください**』

視力が低下するので、全ての方にはお勧め出来ませんが、部屋の電気を消し、蛍光灯だけで学習すると、**集中力**は高まります。なぜなら...**余計な物が目に入らないから**。

学習に集中できない方は、試してくださいね。

また、昼間の学習でも...

部屋に**テレビは置けません**でした。

テレビほど、**中毒性が高い**ものはありません。とりあえずテレビをつけて...という習慣がある方は、今すぐ片付けてくださいね。

もちろん私も、最初の内は地獄でしたよ。

テレビが観たい、テレビが観たい、テレビが観たい！

テレビ症候群です(笑)

しかし5日経ち、10日経つ内に、テレビなしの生活に慣れていくんですね。人間はあらゆる状況に適応していきます。

『ショーシャンクの空に』という映画をご存知でしょうか？

無実の罪で刑務所に入れられた男が、長い年月をかけて脱獄するストーリーです。その中で、モーガン・フリーマン演じる終身刑の男が言います。

『この環境に慣れてるから、表の世界が怖いんだ』

上記の言葉は、人間の**環境への適応性**を端緒に示していますね。刑務所であっても、慣れてしまえば居心地が良くなり、他の世界が恐ろしくなるわけです。しかし最後に、その男も表の世界の素晴らしさを感じるようになります。

(ちなみに原作も秀逸なので、試験合格後に読まれてみてもいいですね。スティーブン・キング原作で、タイトルは『恐怖の四季シリーズ』内の『刑務所のリタ・ヘイワ - ズ』です。ちなみにキングはホラー小説家ですが、『グリーン・マイル』や『スタンド・バイ・ミー』といった、ある種ハートフルな作品も残しています)

で、何を申し上げたいかと言うと...

テレビが無い環境も、いずれ、必ず、適応するということです。

その時間を**学習に当てれば**、当然効率は上がりますよね？

といっても、完全にテレビを禁ずると、逆に**学習放棄**にも繋がりがねません。極端さの反対は極端さです。私自身、完全にテレビを観なかったわけではないのです。

自室には置きませんでした、

例えばリビングで学習する際は、

時々チャンネルを捻っていました(笑)

しかしどうしても欠かせない番組ですね。

自分の中で**バランスを取る**ことを心がけてください。今回はテレビを例に出しましたが、その他も同じです。携帯メール、酒、タバコ、、、中毒性の高い物は色々あります。テレビと同じように、バランスを取りながら、対処してください。その後に必要なことは...

学習を楽しむことです。

大切なのでもう一度言います。

学習自体を、楽しむようにしてください。

学習内容に興味を持って、**知識の吸収に喜び**を感じられれば、自然に学習ははかどりますよ。趣味で疲れないのと同じです。

この教材を購入されたあなたは、きっと学習意欲が高い人でしょうから、ぜひ初心を思い返して、学習に取り組んでみてくださいね。

最初に学習を行ったとき、..

見知らぬ知識の吸収に、興味を持っていましたよね？

その頃の感情を思い出すのです。

- 1・学習初期は、**ローテーション式**に場所移動を行う。
- 2・**中毒性のある物**と上手に付き合う。
- 3・学習を楽しむために、**初心を思い返す**。

上記3点を実践されると、**集中力は自然に高まる**でしょう。

Mr. Y 回答編

【主な合格実績】

- ・ビジネス実務法務検定 2 級試験 **97 点/100 点**合格
- ・宅地建物取引主任者試験 **43 点/50 点**合格

【主な販売マニュアル】

「資格試験の裏技的！？勉強法 ver.3」

【質問】 途中で学習放棄する受験生が、意外に多く存在しています。高いお金を払って学校に通学しても、途中で学習を辞めてしまうんですね。この**原因**はどこにあると思いますか？また**対策**もあれば教えてください。

これは、完全に**心構え・気持ちの問題**ですね。実は、私も経験あります。1つの事例として、少しお話ししますね。

あれは、まだ私が、**大学入試の受験生**だった頃です。

当時の私は、特に頭が良いわけでもなく、むしろ真ん中より下くらいの成績でした。通っていた高校は、一応、進学校でしたが放任主義なところで指導はほとんどなく、全国的に見てもごくごく普通のレベルです。

そんな高校で、真ん中辺りにしかいらなかったわけですから、**実力はまさに平凡そのもの**でした。

そんな私が、ある日突然。こう考えるようになったのです。

「京都大学を目指そう。」

京都大学と言ったら、誰もが知る日本トップの国立大学です。自分の実力を考えたら、**無謀**にもほどがあります。

……何がきっかけで、こうなったのかは正直自分でもよく分かりません。**受験勉強に精を出しているうちに、トップを狙いたくなったのか、見栄を張りたかったのか。**とにかく、私は京都大学を目指すことにしました。

「浪人してでも、合格する。」そんな風にも思っていましたね……。

そして、何を血迷ったか、私は**携帯のメールアドレスを kyoutodaigaku に変えました**。それほど、京都大学に興味があったようです。

自分のことですが、今振り返ってみると「よくこんなことしたな。」と感じますね。(笑)

もちろん、当時親はあきれていました。(ついでに、今の自分も。)……苦い過去です。

それはともかく、私は**Z会の通信講座の京都大学コース**を申し込みました。詳細は覚えていませんが、半年で5、6万円はしたと思います。問題・解答と添削だけで、音声による解説はないので、中々の値段です。

そして、ここからが**一番ひどい話**です。

実は、私……。この教材の問題を……。

一問も解いていないんです。**一問も**。

はい。申し込んだ意味が**ありません**。

当時の私は、眺めるだけで、一度も解こうとはしませんでした。まあ、あれです。「テキストを買ったら、それで満足してしまう。」という典型的なダメ受験生の例です。

(はあ、お金を払ってくれた親に申し訳ない……。)

なぜ、そうなってしまったのか？

理由は、身にしみてよく分かっています。まず、**問題が難しすぎて手も足も出なかった**。これが、**第1の理由**です。

それ以前は、同じくZ会の国公立コースを受講していたのですが、問題の難易度が全然違いました。京都大学コースは、難しくて難しくて……。驚きました。

それで、すぐに悟ってしまったんですね。

「ああ、自分には無理だな。」って。

それは、もうあっけなく。

「この教材は、浪人したときに活用しよう。」そう考えるようになりました。浪人したとしても、使用する保証は、どこにもありません。**事実上の放棄**です。

「難しくて分からないのであれば、勉強して少しずつ理解を深めていけば良い。」そういう考えを、当時の私が思い浮かべることは**ありません**でした。

その理由も、はっきりしています。

私の「京都大学に入学したい。」という思い。それが……、

単なる**憧れ**だったんです。そう、**憧れ**。

つまり、**目標**ではなかったということです。

憧れと目標の違いは、次の2つの要素で決定されると考えています。(あくまで私はです。)

1、**しっかりとした状況把握**

2、**「必ずや達成する。」という覚悟**

1、しっかりとした状況把握

私の京都大学の一件を例とします。「京都大学を目指す。」当時の私は、なかば**思いつき**の感覚で、このようなことを口走りました。

でも、「京都大学を目指す」ということは、**実際にはどういうことなのでしょうか？**

考えなくても分かるくらいははっきりしています。最難関の1つですから、大変なんです。当時の実力からすれば、**生半可な努力では**合格することは出来ません。

そして、生半可ではない、「**合格に必要な努力**が、どの程度のものなのか？」その認識も甘かったのです。

「難しいだろうけど、あと半年間、**死に物狂いで**勉強して合格してみせる。」

死に物狂いなんで、**漠然とした言葉で、片付けていました**。「それで、何とかなる。」本気でそう思っていたのですから、救いようがありません。

「入れたらカッコいいな。自慢できるだろうな。皆の見る目が変わるだろうな。」そういう根拠のない自分のイメージで作り上げた、**京都大学のブランド**。

それに、勝手に酔いしれていただけでした。

だから、入学前の関門である**入試の難しさを、きちんと把握できていなかった**のです。

あのとき、まず最初にすべきだったことは、意味のない決意よりも、過去問を見て難易度を知ることでした。そして、

どれほどの苦勞の道が待っているのか？

これを正確に感じ取ることでした。

それをせずに、いきなり講座を申し込んだ私の考えの**甘さ、甘さ、甘さ！**

それが、いきなりの挫折の原因です。

ちなみに、BLEACH(ブリーチ)という漫画に、興味深いセリフがあります。

「憧れは、理解から最も遠い感情だよ。」

…まあ、そういうことですね。憧れには、**自分に都合のいい脚色をしがち**です。だから、理解から遠くなる。受験勉強の場合は、それが**挫折の引き金**になる可能性があります。

私が、良い例です。

「自分が挑戦しようとする世界が、どれほど困難なのか？」しっかり理解しておきましょう。

2、「必ずや達成する。」という覚悟

大概、何かに挑戦する場合、その達成には何かしらの**困難**がつきまといまいます。資格試験の場合、それは、難関資格になるほど大きくなっていきます。

1で、それを事前に把握すべきだとお話しましたが、把握するだけでは足りません。次に必要なのは、その困難に**「絶対に打ち勝つんだ！」**という**覚悟**です。

「苦しくなることは、初めから分かっていた。」

だから、それを理由に投げ出したりはしない！」

多くの受験生が、途中で挫折してしまうのは、自分が思っていた以上に苦しい思いをすることになったからです。そうではなく、事前に把握し、覚悟もきちんと出来ていれば、挫折する可能性は大きく減ります。

ということで、憧れと目標の違いの説明はお終いです。

世の中には、「 になりたい。」「 試験に合格したい。」とされている方が、大勢います。そういう人たちに、今ここで訪ねておきたいことがあります。

あなたのその思い。

それは、**憧れ**ですか？それとも**目標**ですか？

この機会に、是非自分を見つめ直してみてください。

受験生が、せっかく予備校に通いだしても、途中で学習を止めてしまう理由。

実は、**もう1つ**あります。

今度は、私の京都大学の件とは関係がありません。

【 希望的観測と他者への依存 】

「もしかしたら、自分も講座を受講すれば、合格できるかもしれない。」という**希望的観測**と、
「予備校に任せておけば何とかなるだろう。」という**他社への依存**。

この2つの感情を、知らず知らずのうちにでも持っている方は、途中で学習を止める可能性が大きいです。なぜなら……、

考えが、**甘い**からです。

はっきり言います。

その人が、**自分自身の力で**どうかしようと思わない限り……

「合格できるかもしれない。」 **できません。**
「何とかなるだろう。」 **なりません。**

なぜなら、勉強するのも講義を聴くのも受験するのも、**予備校ではなく、その人自身**だからです。周りがどうがんばったところで、自分にその気が足りなければ意味がありません。

何事も、**最後は自分の力**です。

予備校に出来ることは、勉強の**補助**だけ……。補助というからには、その元があります。それは、もちろん受験生自らの勉強です。

そのことを、きちんと理解していないと、予備校に通ってもお金を無駄にするだけです。

それと、もう1つ。予備校に**過大な期待を寄せるのは止めましょう。**

大学受験、資格試験を問わず、予備校の講義では**全範囲を詳細に説明してくれるわけでは
ありません**。全てを説明しようとしたら、とてもじゃないですが、数十回の講義では足りません。

ですから、どうしても頻出の論点や、難解な論点だけを説明することになります。その関係で、「あとで、各自読んでおいて下さい。」と言われる項目もあります。

予習や復習だってしなければなりません。もちろん、するのは自分です。

結局、予備校に通っても、**自分ですること**は**山のように**あります。

もう1度だけ言いますが、**最後は自分の力**、です。

【質問】 試験日までに、全範囲を終えられるか不安な受験生がいます。特に独学生に多いのですが、この場合、どう対処すれば良いと思われますか？ Mr. Y さんにも同様の悩みがありましたか？

ええ。私も感じた経験があります。その手の不安には、2つのケースが考えられます。

1、実際には間に合うペースなのに、不安を感じている。

特に、勉強を開始した**初期**のころに、感じる人が多い不安です。ただ、実際には間に合うわけですから、対策は簡単です。

2、そのままでは、本当に間に合わない。

厄介なのは、こちらです。

直ちに対策をとらない限り、確実に本試験までに間に合わせることは不可能でしょう。

【共通の対策法】

まずしなければならないことは、「やるべきことをリスト化する」ことです。

テキスト、過去問題集、予想問題集などなど、**使用する教材**に関するデータをまとめていきます。**ページ数と問題数**、これだけでも十分です。

それを**紙**に書き出していきます。パソコンの方が得意であれば、パソコンでもかまいません。

例えば、私の宅建受験の場合は、次のようになります。

教材名	ページ数	問題数
らくらく宅建塾	532	
過去問宅建塾(壹)	(430)	204
過去問宅建塾(貳)	(460)	219
過去問宅建塾(参)	(507)	242
模擬試験 5回分		250
合計	532	915

テキストについては**ページ数**を、問題集については**問題数**をもとに合計を出します。問題集の分もページ数を載せたのは、ほんの参考程度です。

次に、これらの数値を、**(勉強期間 × 0.5)**で割ります。

$$\text{合計} \div (\text{勉強期間} \times 0.5)$$

0.5を掛けているのは、勉強を進めていく中での**不確定要素**と、**復習**の分を考慮しているためです。

- 【不確定要素の例】
- ・急な用事で、勉強が出来ない日ができてしまった。
 - ・思うように勉強が進まなかった。
 - ・科目の難易度が違い、手間取った。
 - ・スランプで勉強がはかどらなくなった。 …etc.

また、**正確な**計算をしたところで、**予定が狂ってしまっは何の意味も無い**ので、ここでする計算は、非常に**アバウト**です。しかし、それでも十分です。

例えば、私の場合は1ヶ月でしたので、勉強期間は**30日**になります。

$$\text{【ページ数】} \quad 532 \div (30 \times 0.5) = \mathbf{35.5} \text{ (ページ/日)}$$

$$\text{【問題数】} \quad 915 \div (30 \times 0.5) = \mathbf{61} \text{ (問/日)}$$

1日にこれだけの勉強をするとすると、驚くかもしれませんが、これは、私の勉強期間が短すぎたせいです。

もしも、勉強期間が60日であれば、**半分に**、120日であれば、さらに**半分**になっていき、現実的な数値になります。

要するに、**今回出てきた数値以上**で勉強をしていけば、何の問題もなく、本試験前までに全ての勉強を**終わることが出来る**わけです。

今までの自分の勉強のペースと比較すれば、間に合うかどうか**一目瞭然**です。

間に合うのであれば、不安を感じることはありません。

ケース1【 実際には間に合うとき 】の対策法

「計算をしてみて、十分間に合うことが分った。でも、まだ不安が拭いきれない……。」
そういう方へ、もう1つアドバイスをおきます。

あなたの勉強のペースは**一定ではありません**。

専門用語に慣れるほど、専門知識を身につけていくほど、**どんどん加速**していくのです。

一回目より、2回目。2回目よりも3回目。あなたが、必要とする時間は**どんどん減**っていきます。例えば、初めは1ヶ月かけて解いていた問題集を、試験直前期には1日で終わられることだってあります。

だから、**必要以上**に不安を感じることはありません。

そのままのペースで、**どんどん勉強を進めて**いってください。

ケース2 【 本当に間に合わないとき 】の対策法

まず、出来る限り**ペースアップ**することにより、間に合わせることを考えます。

それでも、無理だと感じられた場合は……**最後の手段**です。

消極策を取るしかありません。

- 1、予想問題よりも**過去問**を優先する。
- 2、**復習**に専念する。
- 3、**捨て科目・捨て論点**を作る

「どんどん、点を取っていこう！」という積極的なものではなく、

より無難に、より無難に。

頻出度の高い科目・論点**だけ**を勉強してくことになります。そのため、合格率は、ぐんと下がってしまいます……。

こうなる前に、**勉強あるのみ**です。

無料プレビュー版は、これでお終いです。いかがでしたでしょうか？

本編でも、受験生の悩みを解決するため、熱く語っていますので、他の回答を知りたい方は、こちらからお申込み下さい。

<http://kigyou-master.com/urawaza/>

クリックしてもページが開かない場合は、インターネットエクスプローラーを起動してから、再度クリックをお願いします。